

議会の動きをみなさまにお伝えします

加西市議会だより

NO.169



希望の光輝け!汗と笑顔
第54回 加西市体育大会開会式

令和2年度決算を認定しました (P6~8)

- 9月定例会
- 議案審議 (P2~5)
- 議決結果 (P9)
- 一般質問 (P10~15)

2021
11

第292回 令和3年9月定例会 9月1日～9月28日

議案審議

9月定例会では、人事案件1件、条例6件、指定管理1件、規約変更1件、契約変更1件、補正予算4件、決算認定9件の計23件について審議を行いました。

なお、人事案件を除く議案を所管の常任委員会に付託し、審議しました。審議の経過について主なものを紹介します。

審議の様子は、インターネット中継や会議録検索システム（11月下旬掲載予定）にて御覧いただけます。

加西市地域活性化拠点施設『sora かさい』を設置

議案第53号 加西市地域活性化拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について

◆ 議案の内容

加西市の歴史、文化などの地域資源を活用して、多くの人々に平和の大切さを学ぶ機会を創出するとともに、市民の交流と地域活性化の拠点となる加西市地域活性化拠点施設を設置するもの。

【概要】

- ・愛称：sora かさい
- ・業務：
 - ①地域の歴史、文化に基づく資料の収集、保管、展示及び情報発信に関するこ
 - ②観光情報の発信及び地域活性化に関するこ
 - ③地域資源を活用した市民の交流促進に関するこ など
- ・入館料：無料
- ・使用料：多目的室 300円／時間
エントランス広場 300円／時間 など

◆ 質 疑

問 多額の費用をかけて鶴野飛行場跡の整備をしているが、施設の入館料の検討は。

答 この施設は平和学習の場だけでなく、市内外から多くの人に気軽に来ていただくことで交流人口を増やし、加西市の良さを広く発信していきたいと考えています。加西市全体のにぎわいづくりにつなげるため、入館料は無料としています。

問 リピーターを増やす工夫は。

答 この施設は映像による展示がメインで、展示内容の更新は二、三年をめどにしています。また、特別展の開催や、他の施設との連携による資料展示など飽きのこない工夫を考えてます。

問 政治的な主張を行う団体の利用制限について。

答 社会教育的な施設という面もあることから、活動内容によっては使用を認めないことが想定されます。個別・具体的の判断は「加西市鶴野飛行場検討懇話会」に諮って対応します。

※ 以上のような質疑の後、本会議最終日に修正案が提出されました。

(修正案の内容)

施設の共有スペース及び展示スペースを観覧する場合の観覧料についての規定を追加するもの。

(修正の理由)

今後の維持管理や展示の更新等に多額の費用がかかるため、受益者負担を前提とし、観覧料を徴収すべきと考えるため。



『sora かさい』の展示イメージ

◆ 討論

原案に賛成・修正案に反対

- 鶴野にできるだけ大勢の人が来ることを第一に考えてもらいたい。それにより観光や飲食、宿泊などの産業が活性化すると考える。また、特に若い人々にできるだけ見ていただき、平和の尊さや日本の未来を考えるきっかけになればうれしい。フラワーセンターや古法華自然公園、玉丘古墳、五百羅漢などを楽しみ、市内でお金を落とす工夫を考えもらいたい。(本会議)



建設が進む『sora かさい』

原案に賛成・修正案に賛成

- 16億円超の巨費を投じて鶴野飛行場跡の周辺整備をした。起債も5億7,000万円余りあり、市民が負担することになる上、年間4,000万円程度の指定管理料がかかる。経営の観点から観覧料を徴収し、経費の軽減を図ることは大切。長く続けていく施設だからこそ、思いのある方が支えるという意味でも料金徴収は妥当である。(本会議)

◆ 議決結果

賛成少数で修正案が否決された後、全会一致で原案可決

『sora かさい』の指定管理者を決定

議案第59号 指定管理者の指定について（加西市地域活性化拠点施設）

◆ 議案の内容

加西市地域活性化拠点施設の指定管理者を指定するもの。

【概要】

- 指定管理者：神姫バスグループ共同事業体
- 指定期間：5年間（令和4年4月1日～令和9年3月31日）
- 指定管理料：1億9,600万円（5年間：税込）

◆ 質疑

問 施設の指定管理者を、神姫バスグループに決定した理由は。

答 地域住民に親しまれている企業で、他市の公共施設での指定管理者の実績もあります。国内旅行だけでなくインバウンド事業にも強く、飲食店等も運営されており、そのノウハウを存分に発揮できるとの理由からです。

問 まず指定管理候補者を選び、改めて指定管理者を選ぶのではなかったか。

答 昨年の9月議会で、指定管理者の指定手続の条例を一部改正し、その後プロポーザルにより今年1月に指定管理候補者を決定しました。候補者に問題がない限り、そのまま指定管理者として指定するということです。

問 指定管理者の業務について。

答 展示設備の保守点検業務のほか、飲食の提供や地場産品の販売、オリジナルメニュー やグッズの開発提供などの地域活性化業務があります。加えて、交流型自主事業の開催などの交流促進業務、案内や広報、清掃などの施設全般にわたる業務があります。

◆ 討論

なし

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



『市立加西病院新病院建設応援基金』を設置

議案第 54 号 市立加西病院新病院建設応援基金条例の制定について

◆ 議案の内容

市立加西病院の新病院建設に当たり、病院運営や新病院建設に対する市民の関心を醸成するとともに、建設に対する寄附申出の受け皿として基金を設置するもの。

◆ 質 疑

問 基金を設置する目的は。

答 加西病院の建設にかかる経費の一部に充てるためです。市民をはじめ多くの方に、病院の存続・経営に関心を持ち、応援していただきたいという趣旨で設置するものです。

問 寄附の集め方は。

答 「加西病院サポーターの会」から相談・提案があり、その受け皿としていきます。寄附を集める一つの手法にクラウドファンディングもあるので、具体的な用途や目標金額の設定などを考えたいと思います。

問 基金の使途は。

答 起債の償還に充てることは考えていません。基本的に建設費、機器購入に充てることを前提にしています。

問 基金の条例化により、市長が大口の寄附をお願いするのに、いい状況になると考えるが。

答 (市長) 広く多くの方に応援していただき、病院への思いを醸成していく目的と、寄附による建設費の確保という両面があります。大口の寄附もぜひ頑張ります。

問 新病院の総事業費、79億円が今後増えることはないか。

答 現在、基本設計の作業中であり、事業費、面積ともに変わってくるものと考えます。

◆ 討 論

賛成

・自治会を通じて寄附用紙を配布することは慎み、節度ある寄附の集め方をしてほしい。建設費が足りないから寄附を集めるのだと誤解されないような発信をしてもらいたい。(総務常任委員会)

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



マイナンバーカードの健康保険証利用が開始

議案第 57 号 加西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

◆ 議案の内容

保険医療機関等における健康保険の被保険者資格確認について、マイナンバーカードによる電子資格確認が可能になることから、その仕組みに対応したものとなるよう改正するもの。

◆ 質 疑

問 マイナンバーカードを国民健康保険証として利用が開始される時期について。

答 国の方針では、令和 5 年 3 月末までに、全ての医療機関等で開始できるように、準備が進められているところです。加西市では、本年 10 月より準備の整った医療機関から開始の予定です。

問 後期高齢者医療の保険証や障害者医療、乳児医療の受給者証も今回の対象となるのか。

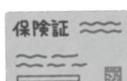
答 乳児医療や障害者医療などの福祉医療に関しては電子資格確認の対象とはなっておらず、従来通り医療機関での受給者証の提示が必要です。一方、後期高齢者医療制度に加入されている方については、国民健康保険と同様に後期高齢者医療被保険者証またはマイナンバーカードにより電子資格確認が可能となります。

◆ 討 論

なし

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



組合構成市が4市から3市へ変更

議案第60号 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園規約の一部変更について

◆ 議案の内容

令和4年3月31日付で小野市が北播磨こども発達支援センターわかあゆ園を脱退することに伴い、規約を変更するもの。

◆ 質 疑

問 小野市脱退後の事業運営、人材確保について確認したい。

答 令和2年4月から重症心身障害児施設長の経験のある園長が就任され、運営体制は安定しています。ただ、残った構成市にとって、少なからず影響があると考えられますが、こういう時こそ3市で協力していきたいと考えています。令和元年度に作成されたあり方報告

書の改善策を実行しながら、管理者会、わかあゆ園議会などで議論を尽くし、納得のいく形で今後の運営を進めます。

◆ 討 論

なし

◆ 議決結果

全会一致で 原案可決



ふるさと納税の増加、小規模保育所の開所、畜産育成支援補助金など

議案第62号 令和3年度加西市一般会計補正予算（第4号）について

◆ 質 疑

ふるさと納税 5億円の増

問 ふるさと応援基金寄附金の増額について。

答 ふるさと納税は、当初予算で25億円を見込んでいましたが、8月末現在で対前年度比112%と好調で、例年10月以降大きく寄附受入額が増えることを踏まえ、寄附受入額を30億円と見込んでいます。

地域主体型交通 355万3,000円の増

問 公共交通政策事業の備品購入費について。

答 日吉地区地域主体型交通の軽自動車2台分の予算です。受付を一人置き、予約を受けてルートを考えるデマンド方式を検討されており、試験運行は令和4年3月頃を予定しています。



小規模保育所 1,819万9,000円の増

問 私立認定こども園への給付事業について。

答 今年10月1日に開所する小規模保育所に対する交付金で、定員12名の6ヶ月分を計上しています。また、令和4年4月にはもう1園が開所予定です。

PCR検査助成 570万円の増

問 PCR検査助成事業の増額について。

答 今年に入り、新型コロナウイルス感染者の増加に伴ってPCR検査を受ける方も増加したため、予算を増額補正します。8月末現在のPCR検査人数は、65歳以上及び基礎疾患のある方が38名、市内企業従業員及び一般企業の方が206名です。



畜産育成支援 1,190万円の増

問 地域農政推進対策事業の畜産育成支援補助金の内容について。

答 コロナ禍による黒毛和牛の需要減や子牛価格の高騰などにより、経営が悪化した肥育農家を支援するもので、クラウドファンディングによる支援金を活用して、1頭当たり60万円以上の子牛を購入した場合、購入金額から60万円を控除した額、上限20万円を年間5頭まで補助します。



◆ 討 論

なし

◆ 議決結果

全会一致で原案可決

令和2年度決算を認定

9月定例会では、令和2年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）9件が提案されました。一般会計は、予算決算常任委員会（全体会・総務分科会・建設経済厚生分科会）、特別会計と企業会計は総務常任委員会及び建設経済厚生常任委員会において、3日間にわたり慎重審議を行い、原案のとおり認定しました。

一般会計の決算額は、歳入317億964万5,980円、歳出306億8,599万1,888円、翌年度への繰越し3億4,134万3,000円を差し引いた実質収支額は6億8,231万1,092円の黒字となっています。

議案第66号 令和2年度加西市一般会計の決算認定について

◆ 質 疑（○印は要望、意見）

人口増対策

○人口増対策事業に関して、対象者へのアンケート等を実施して実態を把握し、効果を検証していただきたい。

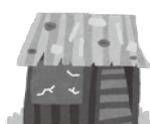
公共交通

○市民により利用してもらえる公共交通の在り方を検討していただきたい。

危険空き家対策

問 老朽化した空き家対策について。

答 倒壊の危険性が高い空き家情報があれば、すぐに現場確認し、所有者に解体撤去などの要請を通知しますが、相続などで所有者が定まらないものが多くある状況です。令和2年度は21件に通知し、1件が解体撤去となりました。



フレイル予防

問 今後も自立生活が続いた場合、身体能力の低下を考えられるが対策は。

答 フレイル予防については、不要不急ではないという啓発活動を行っており、これが浸透していくけば、予防教室などが開催されるようになると考えています。



移動支援

○福祉タクシー券や移送サービス事業など、高齢者や障害者の支援に関わる様々な移動に対する事業について、各制度が一見して分かるように周知を図るなど、それぞれのサービスがフルに活用してもらえるように工夫していただきたい。



生活困窮者支援

問 生活困窮者自立支援の新規相談受付や就労者数などが伸びている要因について。

答 コロナ禍で収入が減った方や総合支援資金を希望する方に対し、関係機関との相談やハローワークへの同行、就労情報の提供など、支援員の積極的なサポートにより就労者数等が増加していると考えています。

還元ポイント事業

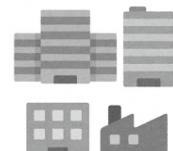


問 地域活性化キャッシュレス還元ポイント事業の効果について。

答 高齢の方のポイント利用も増えており、若い方だけでなく幅広い世代にキャッシュレス決済が広がっています。市内事業者のPayPay導入は350店舗を越え、他市と比べてもキャッシュレス決済が進んでいると考えています。引き続きPayPayも含め大手電子決済事業者と協力してキャッシュレス化を進めるとともに、市内でのお金の循環を一層推進するため、ねっぴ～Payの導入など、より利用しやすい仕組みを広めます。

雇用対策

○雇用対策事業に関して、加西インター産業団地に企業が進出してきてるので、加西市で雇用してもらえるような施策展開をお願いしたい。



ふるさと納税

問 事業費に対するふるさと納税の充当についての考え方。

答 コロナ対策など緊急的、一時的な施策のために、ふるさと納税を基金に積み立てることは必要と考えます。しかし、出生状況や人口動態を鑑み、タイミングを逃すと成り立たない事業は、恒常的な事業であってもふるさと納税を活用すべきと考えています。

農業政策

問 安全な農産物を作り、供給する環境保全型農業の取組は、もっと広げていくことが大事では。



答 SDGsの実現に向け、国も有機農業、安全な農産物の方向へ動いており、取組を推進していきます。

9月定例会 議案審議

○小規模農家、家族農家は、加工米等への転換がしにくい状況であり、放棄田の問題にもつながってくると考える。今後の対応策の検討をお願いしたい。

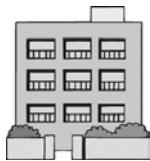
○6次産業化については、生産者と企業との連携を考え、推進していただきたい。

公営住宅

【問】 今後の公営住宅の在り方として、民間賃貸住宅への家賃補助などへ切り替えることも必要では。

【答】 古くなった市営住宅は、加西市公営住宅等長寿命化計画に基づいて計画的に設備更新を行っていますが、今後は民間の協力を得る方法も含めて在り方を検討していく必要があると考えます。

○住宅マスターPLANについては、住民の意見をしっかり聞き、計画を立てていただきたい。



ごみの減量

【問】 プラスチックごみの一括回収ができないか。

【答】 プラスチックごみの一括回収は、施設や人手に多額の経費がかかるため、まず粗大ごみの拠点回収で集められたプラスチック類を分別、リサイクルすることを検討していきます。



◆ 討論

賛成

・人口増対策として特に若い人に補助金、助成金を交付する事業に関して、対象者やその施策がどう影響したのかという基本的なデータを蓄積して効果を検証し、より効果の高い施策へとつなげていただきたい。(本会議)

◆ 議決結果

全会一致で原案可決

議案第 69 号 令和 2 年度加西市後期高齢者医療特別会計の決算認定について

【歳入】 7 億 12 万 3,862 円

【歳出】 6 億 9,741 万 6,379 円

【差引】 270 万 7,483 円

◆ 質疑

【問】 令和 2 年度における保険料均等割の軽減特例の段階的な見直しの内容について。

【答】 令和 2 年度には、8.5 割軽減が 7.75 割軽減に、8 割軽減が 7 割軽減へと見直しがありました。令和 3 年度からは、7.75 割軽減が 7 割軽減へ見直しが予定されています。

◆ 討論

反対

・令和 2 年度は負担の増加が図られ、保険料の軽減特例の段階的廃止により、保険料総額は 8% 上昇している。負担強化が今の福祉施策の実情で、医療費負担が膨らみ将来的には原則 2 割負担となり、ますます負担が重くなる。年齢によって別の医療制度につくり上げていくこと自体が非常に問題があり、制度や仕組みそのものも含めて、今回の負担の増大に対して反対する。(本会議)

◆ 議決結果

賛成多数で原案可決

議案第 72 号 令和 2 年度加西市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

【収益的収支】 収入 10 億 7,982 万 1,811 円

水道料金や施設の維持管理等を行うための収入と支出 組合せ 10 億 1,988 万 8,227 円

純利益 5,993 万 3,584 円

【資本的収支】 収入 2 億 5,143 万 6,000 円

水道設備等の新たな整備を行うための収入と支出 組合せ 3 億 6,563 万 1,246 円

不足額 1 億 1,419 万 5,246 円

◆ 質疑

【問】 来年 4 月の市川町から県水への切替えに当たって、市川町との交渉状況は。

【答】 (市長) 課題は 3 つあります。責任水量の問題。いつまで水を頂くのか期間の問題。そして管路の整

備に市川町が投資された分の減価償却に対する補償をどうするかです。できれば今年度には、その方向性を議会に示すことができればと考えます。

◆ 討論

なし

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



県水を供給する鴨谷配水池

議案第74号 令和2年度加西市病院事業会計の決算認定について

【収益的収支】 収入 55億 599万 517円
 診療収入や薬品費 支出 52億 8,595万 4,542円
 など診療を行うための収入と支出 純利益 2億 2,003万 5,975円

【資本的収支】 収入 3億 6,884万 8,500円
 病院の施設・設備 支出 5億 3,548万 8,752円
 整備や投資を行うための収入と支出 不足額 1億 6,664万 252円

◆ 質 疑

問 令和2年度決算で約2億2,000万円の純利益となつた理由は。

答 第2種感染症指定病院として、多くのコロナ感染症陽性患者を受け入れました。これに対するコロナ対策補助金のほか、一般病床の効率的な運営による病床稼働率の向上、人員の適正化、物品購入費低減などの経費縮減も要因と考えています。

問 総合診療医を増やしていく取組について。

答 回復期の病院では総合診療医という他分野の診察もできる医師が求められますが、ある程度経験を積まないと務まりません。現状の診療科としては総合内科という位置づけです。今、総合診療医は2名ですが、将来的には研修医養成も含めて増やしていきたいと考えます。

問 分娩ができる体制づくりは。

答 現在、病院の産婦人科医師が1名となり分娩休止になっています。分娩体制については、今、北播磨と東播磨を合わせた播磨東周産期医療圏という大きな枠組みで取り組んでいます。分娩は、医療圏域の基幹病院や協力病院である姫路聖マリア病院、西脇病院、北播磨総合医療センターにお願いし、加西病院は周産期や産後ケア、小児患者の救急受入れなどの充実を図っていきます。

◆ 討 論

賛成

・経営改善については、コロナをはじめとする様々な要因で純利益を出して資金不足についても解消したものの、令和3年度も6億円の長期貸付を一般会計が負担している。監査委員の指摘どおり9億円もの補助がなければこの結果はなかったわけで、令和3年度はさらなる改善結果が出ることを望む。

今後の病院建設について、建設費の償還は結果的に市民にのしかかってくるので、規模が大きくなるならば他方で見直しを図りながら進めていただきたい。また、新病院が回復期をメインに総合診療医を中心とするならば、現時点で患者の受入れをもっと積極的に進め、スピード感を持った体制づくりが必要である。(本会議)

◆ 議決結果

全会一致で原案可決



意見書案を採択しました

9月定例会では意見書案2件が提出され、審議の結果、採択しました。

議会運営委員会提案

① 意見書案第3号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

要旨 新型コロナウイルス感染症の蔓延により、地方財政は巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面し、地方自治体はコロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。その財源確保のため、国においては、令和4年度地方税制改正に向け、地方税制の充実確保が確実に実現されるよう要望する。

議員提案

② 意見書案第4号 中華人民共和国による人権侵害問題の解決を促し、日本政府に必要な措置を講ずることを求める意見書

要旨 中国によるウイグル人への弾圧は、看過することのできない人権侵害であり、断じて許されるものではない。在日ウイグル人においても、中国にいる家族の収容所への拘束、大使館がパスポートの更新を受け付けない、一時帰国後に拘束され日本に戻れないなど、深刻な状況にある。よって、国においては、国際機関や関係各国と連携して人権侵害の実態について調査し、加えて人道上の観点から、国内で必要な保護が受けられるよう措置を講ずることを求める。

第292回 令和3年9月定例会 議決結果一覧

令和3年9月1日～9月28日

■賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議 案	北川克則	高見博道	下江一将	佐伯欣子	深田照明	衣笠利則	井上芳弘	中右憲利	黒田秀一	丸岡弘満	深田真史	森元清蔵	原田久夫	森田博美	土本昌幸	議決結果	
議案第53号 修正案 加西市地域活性化拠点施設の設置及び管理に関する条例案に対する修正動議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	議長	×	×	修正案否決 (賛3、反11)	
議案第69号 令和2年度加西市後期高齢者医療特別会計の決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	議長	○	○	原案認定 (賛13、反1)
意見書案第4号 中華人民共和国による人権侵害問題の解決を促し、日本政府に必要な措置を講ずることを求める意見書	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	議長	×	○	原案可決 (賛8、反6)	

■全会一致で適任と答申、可決、認定した議案

- 諮詢 第 9 号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて
- 議案 第 53 号 加西市地域活性化拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について
- 議案 第 54 号 市立加西病院新病院建設応援基金条例の制定について
- 議案 第 55 号 加西市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 56 号 加西市税条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 57 号 加西市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 58 号 加西市生活排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案 第 59 号 指定管理者の指定について（加西市地域活性化拠点施設）
- 議案 第 60 号 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園規約の一部変更について
- 議案 第 61 号 加西市地域活性化拠点施設建設工事請負変更契約の締結について
- 議案 第 62 号 令和3年度加西市一般会計補正予算（第4号）について
- 議案 第 63 号 令和3年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
- 議案 第 64 号 令和3年度加西市介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- 議案 第 65 号 令和3年度加西市病院事業会計補正予算（第2号）について
- 議案 第 66 号 令和2年度加西市一般会計の決算認定について
- 議案 第 67 号 令和2年度加西市国民健康保険特別会計の決算認定について
- 議案 第 68 号 令和2年度加西市介護保険特別会計の決算認定について
- 議案 第 70 号 令和2年度加西市公園墓地整備事業特別会計の決算認定について
- 議案 第 71 号 令和2年度加西市産業団地整備事業特別会計の決算認定について
- 議案 第 72 号 令和2年度加西市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 議案 第 73 号 令和2年度加西市下水道事業会計の決算認定について
- 議案 第 74 号 令和2年度加西市病院事業会計の決算認定について
- 意見書案 第 3 号 コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書

9月9日、10日の本会議では、12名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

公共交通について



北川 克則 議員
(令和新風加西)

問 地域拠点について。

答 地域公共交通網形成計画にある各地域拠点には、公共交通が結節する場所、その機能を強化するための交通結節点という形での整備を進めています。

問 地域主体型交通の各地域の動向と今後について。

答 日吉地区ではデマンド乗合タクシーの導入が進められています。ほかに富田地区や賀茂地区では、地域主体型交通の導入に向けた住民アンケート調査を実施されており、新たに九会地区も調査を検討されるところで、説明に伺ったところです。

新たに策定する地域公共交通計画においても、主に地域内の生活利便施設や交通結節点への移動支援として地域主体型交通を位置

づけ、市としても積極的に支援していきたいと考えます。

要望 泉地区の交通結節点は、宇仁バスとはっぴーバスに加えて日吉の乗合タクシーも乗り入れし、非常に手狭になるため整備をお願いしたい。

今後の地域主体型交通は、拠点地域を線で結ぶだけではなく、根っこのように横断的に交通網を形成するリゾーム型公共交通網を推進し、より便利になるよう努めさせていただきたい。また、ICT活用による利便性とコストパフォーマンスの向上や脱炭素化も進めていただきたい。

■その他の質問項目

- 教育（新型コロナウイルス感染症対策、食育）について
- くらし情報のSNS配信（イーナカサイ、LINE）について

北条節句祭 900年記念祭について



中右 憲利 議員
(令和新風加西)

の地誌、峯相記に保安3年（西暦1122年）に鶴鶴つまり「鶴合せ」開始の記録があり、そこを節句祭の起源として900年目に当たると理解しています。

北条節句祭の魅力を広くPRするための900年記念祭の映像化は、市の文化財保護事業の趣旨ではなく、市の事業では難しいと考えます。しかし、文化庁の事業に、地域の伝統行事や民俗芸能等の魅力をPRするための動画を作成し、国内外に発信する事業への補助メニューがあり、記念祭の映像作成はこれに合致すると思われます。この補助メニューが来年度採用されるかは未定ですが、採用された場合は、10月下旬から11月頃に応募が始まると思われます。

問 文化庁の補助メニューが来年度採用されるかは未定だが、募集があったときにはすぐ申

し込めるよう、できるだけ早く決めて計画を立てておくことが重要ということか。

答 その通りだと思います。

要望 これから関係者で会議を開き、900年記念祭としてどういう事業をするのか正式に決めていかれると思う。900年記念祭の詳細な映像記録は加西市にとっても観光客誘致の大きな武器になると思っている。また、その他の記念事業に関する市の関係部署に支援のお願いがあると思うが、そのときには観光部門も含めて最大限の支援をお願いしたい。

■その他の質問項目

- 新型コロナ関連について
- 観光関連について
- 主要県道の整備について
- 加西市の農業関連について

一般質問

新型コロナ感染対策と教育改革について



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 学校での感染対策は同僚議員から質問がありましたが、感染者が出た場合の学級閉鎖や休校基準について、国の指針に合わせるのかも含めて伺います。

答 国のガイドラインを基に、8月31日付で各学校、園に学級閉鎖等の基準を示しています。

問 オンライン授業の活用状況についてお聞きします。コロナ禍により、登校して対面授業、あるいは自宅でオンライン授業を選択可能にして取り組む自治体も

あります。見解をお聞きます。

答 対面授業とオンライン授業を、児童生徒や保護者の選択によるハイブリッド型の授業を進めている自治体もありますが、登下校の安全配慮や日々の出欠確認、授業準備に対する教職員の負担等も踏まえ、加西市では一斉での授業形態を予定しています。

学校におけるタブレット端末の活用状況ですが、昨年10月の導入時は各学校のWi-Fi環境が整っておらず、順次Wi-Fi環境を整えました。また、各家庭へのアンケートから、Wi-Fi環境が整っていない家庭も多いことが分かり、持ち帰り用モバイルルーターを準備しました。今、学校では十分に活用できる状況になり、2学期からは小中学校の児童生徒全員が一旦持ち帰り、家庭のWi-Fi環境の確認や整備を進めています。今後の課

題として、タブレット端末を持ち帰ったときのルールづくり、児童生徒や教職員の操作方法のスキルアップ、あるいはオンライン授業でこそ効果が上がる学習内容等がありますが、教職員も工夫して問題を一つ一つ解決し、ICT機器を有効活用した学習ができるように努めます。

要望 先生方も大変だと思いますが、これは大きなチャンスで、子供たちが今経験することで、将来とても役に立つと思います。みんなで支えていく必要がありますので、しっかりと対応していただくよう要望します。

■その他の質問項目

- ・防災・減災について
- ・新型コロナウイルスのワクチン接種について
- ・備蓄倉庫の活用について

ごみの再資源化処理について



衣笠 利則 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 地球温暖化により脱炭素化やSDGsが重要視されており、加西市のごみ処理における再資源化について伺いたい。

まず、ごみのリサイクルの現状はどうなっているか。

答 加西市のごみの分別は、燃やさごみ、小型家電、埋立ごみ、空き缶、金属類、びん類、ペットボトル、紙パック、トレーを分別収集しています。さらに加西市クリーンセンターでの受入れでは紙類、衣類、布団、剪定枝、乾電

池、蛍光灯などの分別も行っています。また、粗大ごみはクリーンセンターへの持込みに加え、各町での拠点回収も実施しています。

問 小野クリーンセンターでの剪定枝の焼却は、1トン当たり1万8,000円、年間約1,500トンで約3,000万円の焼却費用がかかっている。加西市の剪定枝処理の取組状況や効果は。

答 加西市クリーンセンターでは、平成26年度より剪定枝や刈草等を施設内で一時保管し、業務委託で堆肥化施設へ搬出して再資源化処理をしています。平成26年度に燃やすごみの広域連携がスタートし、焼却施設費の削減効果額を市民に還元することも併せ、委託業者とタイアップを図って、花と野菜の土や堆肥をできるだけ低価格で提供しています。令和2年度は670トンの剪定枝

で処理費用は約1,200万円でした。小野クリーンセンターで焼却する場合の持込量に対する負担金や運搬費用の増加、また市民の利便性を考慮しても、費用対効果は大差がないのではないかと考えます。

問 剪定枝の処理を広域組合として取り組んではどうか。

答 (市長) 小野クリーンセンターの廃炉費用負担の議論の中で、剪定枝の広域処理について提起しました。循環型社会、脱炭素社会に向け、持続可能性という理念に基づいてやることは共通の目標です。一方、加西市クリーンセンターの廃炉の一つの方法として、剪定枝の共通処理を加西市が担い、広域の施設としての整備と廃炉ができないかと考えています。ぜひ実現して、持続可能な焼却、安全・安心な焼却を目指していきたいと思います。

一般質問

加西病院の事業改善と新病院建設への取組について



深田 照明 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 コロナ感染症に対する病院の役割と今後の医療体制について。

答 第二種感染症指定病院として段階的にコロナ感染症病床を増やし、地域の陽性患者を受け入れて地域医療を守るリーダーシップを執ってきました。その結果、病床稼働率が向上し、コロナ感染症対策補助金の増加もあって令和2年度の経常収支は大きく改善しました。今後もコロナ感染症にしっかり対応しながら、継続的

で持続可能な地域医療の提供を目指し、回復期中心のサテライト病院を念頭に選択と集中を進めるとともに、小児、周産期など広域政策医療をしっかり見極め、病院づくりに生かしたいと考えます。

問 事業改善の取組状況について。

答 北播磨総合医療センターや加古川中央市民病院等の拠点病院へ高度急性期の患者を紹介し、加西病院は回復期の患者を逆紹介で受け入れていますが、今後はさらに連携を強化して患者を増やし、病床稼働率の向上を目指します。また、令和5年度をめどに医師の給与体系を見直し、退職不補充など人員の適正化や委託業務の見直し等により支出を減らして経営改善を進めます。加えて、ガバナンスの強化を図るために、人材育成にも取り組んでいきます。

問 新病院建設に対する市民の意見とその取扱いについて。

答 昨年の市民ワークショップでは、通院や入院・在宅生活に関する総合相談窓口の充実、産後ケアの継続、リハビリや健診など予防医療の充実、ICT活用などの要望が多く、新病院建設に向け、取り入れるべきものは取り入れる方向で検討しています。

問 新病院建設について市民の関心を高める取組は。

答 市民に信頼され、安心して利用してもらえる病院づくりが重要と考え、市民の関心や応援を積極的に受け止めていくために新病院建設応援基金を設置しました。また、職員の意識改革に取り組むとともに、新病院建設の進捗状況を随時広報し、市民の関心を高めるよう努めます。

国保税の引下げについて



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 加入者の負担ができるだけ低く抑えることは自治体の責務と考えますが、加西市の国民健康保険の現状について、9月補正予算の段階での基金の状況をお尋ねします。

答 令和2年度決算で基金残高は6億3,200万円でした。今回の補正予算では9,000万円余りを基金へ積み立て、基金残高は7億円を超える状況です。

問 基金が積み上がっていく中、国保税引下げの方向も検討するという答弁をいただいた経緯があります。引下げに当たっての課題をお尋ねします。

答 基金はできるだけ市民の方に還元していきたいと考えていますが、平成30年度の国保改革により、県では国保保険料率の統一を目指して協議が進められており、市の置かれた状況は極めて流動的です。保険税の引下げは、保険料率の県下統一の影響、激変緩和措置の適用の有無、統一後の基金の適正な保有残高等、今後の状況や協議を注視しながら検討しなければならないと考えます。

問 そのような課題も踏まえて、少なくとも何らかの引下げ方向で具体的に検討され、今後の運営協議会等でも検討内容につい

て具体的に示されていくと受け止めているのか、お尋ねします。

答 市としましては、基金を活用して令和4年度に国保税を引き下げる方向で検討しています。具体的には令和3年中に国保運営協議会等で意見を伺い、事務を進めていきたいと考えます。

意見 事務的には困難な面があるかと思いますが、このようなコロナ禍の中で基金がこれまでになく積み上げている状況です。これまでの協議会の中でも「幾らまで積み上げればいいのか。これを活用することはできないのか。」というような質問も委員の方からもありました。そのような意味で、市長からも適切な対応という指示があったと思います。ぜひ具体的に進めていただきますように、改めてお願ひをしておきます。

一般質問

感染症に対する未就学児の現状と対応について



佐伯 欣子 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 RSウイルス感染症の症状と現在の感染状況について。

答 RSウイルス感染症は乳幼児に多く見られる呼吸器感染症です。2歳までに感染し、一度ならず何度も感染する可能性があり、初期症状の発熱や咳、倦怠感や潜伏期間、感染経路など新型コロナウイルスと似ており、見分けがつきにくいとされています。市内では8月前半まで流行傾向がありました、9月第1週目以降は発生していません。

問 新型コロナウイルス感染症とその他感染症の対策と対応について。

答 同居家族の新型コロナウイルス感染に加え、園児のRSウイルス感染やそれ以外の発熱や倦怠感がある場合は、自宅待機して出席停止をお願いしています。

問 未就学児の新型コロナウイルス感染症陽性者数及び重症者数について。

答 県の公表では、未就学児は10歳未満として公表されます。市が把握する内容としては、今年4月から8月までの市内の10歳未満の陽性者は4名で、全員が同居家族の濃厚接触者でした。こども園や学校からの感染報告はなく、無症状2名、軽症2名でした。

問 感染予防の基本的対応は重要だが、対応が困難な家庭の状況など現状をどうお考えか。

答 保護者の方の大変な状況は理解していますが、コロナ禍をみんなで乗り越えるために、各こども園の個別対応ではなく市全体の統一した対応としていきたいと考えています。

問 長期化するコロナ禍における今後の対応について。

答 現場の職員の声に耳を傾けながらできる限り支援するとともに、保護者の方には引き続き丁寧な説明を行っていきます。

要望 新型コロナの終息はまだ見通せませんが、教育委員会は園と保護者をつなぐ役割を担っていただき、コロナ禍を乗り越えていただくよう切望します。

加西市・加西市民と自衛隊との良好な関係づくりについて



黒田 秀一 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 民生安定のため、防衛施設周辺整備事業として補助金が交付されているが、西村市長就任以降の状況について伺いたい。

答 平成23年度以降、市民会館文化ホールの耐震改修が5か年で2億9,464万円、コミセン耐震改修が4か年で2億6,897万円。繁陽地区コミュニティ施設が2か年で1,960万円、鶴野中地区コミュニティ供用施設が3か年で2,352万円となり、補助金の合計は6億673万2,000円です。

問 防災無線整備の補助申請と事業採択性について。

答 九会地区と富合4町の防災無線整備については、今年5月に令和4年度予算の概算要求に必要な書類を提出し、細かな調整等に対応しながら、予算の内示結果を待っている状況です。

問 加西市全域の防災無線整備についての考えは。

答 市としても市全域で整備すべく、防衛施設周辺整備事業で行う九会、富合地区の一部と併せ、令和3年度から令和7年度までの5か年計画で、実施設計や設備整備等を行うことにより、全市的に整備して全市民に正確な防災情報を迅速に伝達できるよう考えてています。令和2年度には、市全域を網羅する情報伝達システム

の基本設計を実施しています。

問 大規模な自然災害が発生した場合の自衛隊の部隊派遣要請について。

答 大規模災害における自衛隊の部隊派遣は、基本的には市長が知事に対して災害派遣要請を要求し、知事が防衛大臣に派遣要請して部隊が派遣されることになっています。ただし、派遣要請を受けるいとまがない緊急事態と判断した場合は、知事の要請を待たずに部隊派遣をすることができるとなっており、知事に連絡が取れない場合、市長からの連絡により駐屯地司令の判断によって部隊派遣が可能です。また、自衛隊の庁舎や営舎の近隣に災害が発生した場合、部隊長は必要に応じて部隊を派遣することができる近傍派遣も規定されています。

一般質問

加西の教育の今後について



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)

学校再編・統廃合について

問 現在の進捗は。

答 市民アンケートを実施する段階で、スケジュールを見直す必要性があるとの議論になりました。内部議論の結果、現時点で市民意見を集約する作業や在り方案を作成する作業を兼ねて、有識者を含めた委員会を設置する方向で見直しています。

問 市長自ら何校に絞るとか、踏み込んだ案ができているのか。たたき台を示して。

答 (市長) とくに頭の中ではできておりますし、教育長にも申し上げております。それなりに煮詰まっているんです。「あり方委員会」は1年やっていくので、必要な時期に小・中学校は何校、将来どこに造るか提示し、議論いただきます。

北条高校について

問 3回目となる1クラス増の署名を出しているが、県教育委員会の回答は。

答 増やすと当然言えないが、地域の強い思いを真摯に受け止め、今一度検討したいとの回答でした。ただ、生徒数の減少に

より、高校規模の適正化を進めると県教委は表明しているため、その発言を正面から受け止めることはできないと思います。

問 この際、加西市として北条高校と播磨農高との統合を視野に、計画を立てる必要があるのでは。

答 北条高校活性化協議会の活動は、市費を投入していますが、側面支援の域を出することはありません。市として、最も適切な事業が何か見直し、支援していきます。



コロナ禍における学校運営について



丸岡 弘満 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 令和3年度からの中学校保健体育教科書では、スポーツや防災、医療等の発展に貢献した偉人として、柔道の父と呼ばれた嘉納治五郎氏など多くを紹介し、学ぶようになっている。教科書に載っている偉人だけでなく、大谷武一氏の功績を一緒に教えているのか。日本オリンピック委員会公式HPでは、ソフトボール・ハンドボールの日本での競技の歴史として、「大谷武一氏が学校体操科の遊技として紹介したのが始まりです。」と紹介している。また、

学習指導要領では競技の特性や成り立ちの理解に関する指導が求められているが、専門家からは、実技指導に比べて教え方が十分に蓄積されていない実態があると指摘されている。

このようなことから、教科書を使って、大谷武一氏の功績を市内学校で教えるべきと考えるが。

答 地元賀茂小学校では折に触れて話をしていますが、運動会や体育大会のラジオ体操の際に紹介している学校も多くあります。かつては雨の日の授業で保健体育や競技の説明をしていましたが、現在は生徒一人一台のPCを体育の授業でも使用し、映像による種目の説明等を行っており、その場面での指導がよいのではと感じています。学校現場に紹介し、様々な機会に大谷武一氏を紹介したいと考えます。

問 特別支援学校の遊具がユニバーサルデザインではない。体育の様子を見る限り、体力づくり、挑戦する気持ちや達成感、自主性や外で遊びたいと思うような遊具なのか疑問に感じる。

答 大事に使っていますが本当に古くなり、危険な物や使用が難しい物もあります。支援学校のどこを見ても、ユニバーサルデザインになっていると思われる施設でないといけないので、順次遊具の入替えも考えていきます。

意見 泉よつばこども園の運動場が全面凸凹で水たまりが多く、施設管理ができていないので改善をしていただきたい。また、西在田小学校が取り組んできた環境学習は、国内初のグリーンフラッグ取得という大変すばらしい取組だが、ユネスコスクールに加盟申請してはどうか。

一般質問

加西インター産業団地について



高見 博道 議員
(令和新風加西)

問 2工区の進入路を中富町の磯辺池北側辺りに計画していると聞いている。小学生の通学路でもあるが、進入路として決定しているのか、また、どのような安全対策を講じるのか。

答 2工区の県道多可北条線からの進入路について、現在2工区の北東にある磯辺池の北で県道に接続する計画で関係機関と協議を進めています。

磯辺池の北には、幅員が約3メートルの市道中富越水線があ

り、2工区の進入路として拡幅する計画です。泉小学校の通学路となっているため安全も最大限考慮し、全幅9.5メートルで2.5メートルの歩道を整備する予定です。子供たちがこの歩道を使うことにより、より安全に通学できると考えています。工事中の安全対策として、作業員に安全を徹底し、警備員を適正に配置することはもちろん、必要に応じて仮の通学路を設置する等、十分な安全対策を講じます。

問 1-2工区について、リスパックの操業へ向けての工場建設、また操業に当たっての地元雇用など、現在の準備状況は。

答 加西インター産業団地への進出企業引渡し第1号のリスパック株式会社の新工場は、関西工場として同社5番目の工場と

なります。環境負荷低減につながる食品容器の生産増強を目指す次世代型のパッケージ工場として、スーパーマーケットやコンビニ、食品加工メーカー向けに植物由来のバイオプラスチック配合素材を中心とした食品容器を生産し、西日本エリアへの供給の拠点となります。令和4年4月に建築着工、令和6年4月に稼働予定で、延べ床面積2万8,430平方メートル、投資額は約180億円を予定されています。

従業員は144名を予定し、うち115名を地元採用したいと聞いています。

■その他の質問項目

- ・加西市の異常気象への対応について
- ・北条高校について
- ・加西市のデジタル化について

子育て支援について



下江 一将 議員
(21政会・加西ともに育つ会)

問 子育てと仕事の両立のためのワークライフバランス実現に向けた市内の取組は。

答 加西商工会議所産業活性化センターでは市内企業向けのワークライフバランスセミナーを開催し、子育てと仕事を両立できる企業等の増加に努めています。また、来春オープンする屋内型遊戯施設とテレワークセンター、通称「アスモ」は、一時預かりで子供を預けて隣のテレワー

クセンターで仕事ができ、子育てと仕事の両立が可能となります。

問 ワークライフバランスに関する講座や勉強会について。

答 男女共同参画事業として、県の男女共同参画センター「イーブン」とふるさとハローワークの共催により、テレワーク講座や子育て期のワークライフバランスなど、子育てと仕事の両立をテーマにした女性のための働き方セミナーを毎年開催しています。また、チャレンジ相談も例年開催し、子育てや仕事に悩む女性を対象に、キャリアコンサルティング技能士が相談に応じたり、就職や再就職、起業、テレワークなどのアドバイスも行っています。

問 子育て中の男性に対する支援や学ぶ機会について。

答 父親の育児参加の啓発活動として、母子健康手帳交付の際に、妊娠期からの家事や産後の育児の役割分担や子供の発育発達について解説した小冊子の配布を行っています。また、妊娠期に両親で参加できるパパママクラブを実施、沐浴やおむつ交換など男性にも体験していただくことで、産後積極的に父親が育児参加できるように支援をしています。

未就園児を持つ世代では外出先が限られることや、コミュニティや紙面による情報を得にくいという特徴があるため、ニーズを把握しながら発信方法に配慮し、男女にかかわらず育児世代への支援内容やライフモデルを発信します。また、参加しやすい形態のイベントなども検討し、子育て世代にとってさらに生活しやすいまちづくりを目指します。

市議会トピックス

■ 議員研修会を開催しました

令和3年8月3日に「地方議会議員のための政策法務～条例の審査と提案～」をテーマに、YouTubeによるライブ配信形式の議員研修会を開催しました。市長提案の条例をどのような観点から審査するのか、また、どのように政策立案して条例を作成・提案するのかについて理解を深めました。



令和3年8月19日には「コロナ後の経済動向と関西・兵庫の活性化」をテーマに、テレビ会議システムによる議員研修会を開催しました。景気の現状や中長期的な課題、今後の関西経済などについて講師に講演いただき、最新の経済動向を学びました。

■ 令和3年12月 加西市議会定例会の予定

月 日	時 間	会 議
11月30日(火)	9:20 9:40 10:00	議会運営委員会 議員協議会 本会議（提案説明等）
12月2日(木)	15:00	発言通告期限（質疑・一般質問）
12月8日(水)	9:20 9:40 10:00	議会運営委員会 議員協議会 本会議（質疑・一般質問）
12月9日(木)	9:20 9:40 10:00 本会議終後	議会運営委員会 議員協議会 本会議（一般質問） 予算決算常任委員会（全体会）
12月10日(金)	10:00	本会議（予備日）
12月13日(月)	10:00 懇談会終後	建設経済厚生常任委員会 予算決算常任委員会建設経済厚生分科会
12月14日(火)	10:00 懇談会終後	総務常任委員会 予算決算常任委員会総務分科会
12月17日(金)	10:00	予算決算常任委員会（全体会）
12月22日(水)	9:20 9:40 10:00	議会運営委員会 議員協議会 本会議（委員長報告・討論・採決）

■ 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

12月定例会での取り扱いを希望される場合は、令和3年11月19日（金）17時までに御提出ください。

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録もることができます。

ぜひ、御活用ください。

スマートフォンで御覧いただく場合は、下記QRコードを御利用ください。



議会中継
(ライブ・録画) は
加西市議会HPへ

